

診療後10分で帰れる体制目指す

デンタルタイアップ認定セミナー

より良い医療を継続的に提供し続けるためには、将来を見据えた働き方改革が必要。歯科医院の5S導入を推進しているデンタルタイアップ（広島市中区、小原啓子代表取締役）は、9月から通信講座「働き方改革 質の高い医療を提供する歯科医院の5Sセミナー」を開始した。産業能率大学と連携した「整理収納アドバイザーオフィス&ホーム」の認定講座。9月26日にはオンラインセミナーの第一回目（基礎編）として、歯科医院の運営管理に5Sが欠かせなくなっている社会的要因の理解から始め、5Sプロジェクトの流れ、リーダーシップを学ぶことも、歯科医院の実例から職場環境へのノウハウを学んだ。

科新聞社、2021年）を参考図書として、すぐに実践できるノウハウを共有し、参加者の歯科医院のマネジメント向上を図るもの。

小原氏は講演第一節で、5Sの具体的な目標を提示。「整理」は要らないものや業務の処分、「整頓」は誰でも、いつでも、すぐに必要なものが取り出せる仕組み、「清掃」は掃除しながら点検すること、「清潔」は環境の維持と滅菌・消毒、「しつけ」は感謝の心だとして、5Sを当たり

前とする組織風土を作り出し、診療終了後10分で帰れる体制にすることが、多くの経営指標の改善につながることを示した。

また、組織マネジメントで重要な「協働」の重要性を強調。同じ目的のために、対等の立場で協力してともに協力しあう協働が当たり前前の風土になってくると

5Sの取り組みも進みやすいと述べた。

社会環境の変化としては、令和元年の産業別離職率のうち、医療職種が14.4%であることを挙げ、「スタッフ全員が数年で入れ替わる可能性を踏まえた組織風土づくりが必要だ」と、5Sを基盤にした働き方改革の意義を示した。

「整理収納アドバイザーオフィス&ホーム」の取得のためには、今後、およそ3カ月にわたり、通信講座の受講のほか、レポート提出、職場や家庭での整理・収納の実践状況を毎月提出。1月末の第二回セミナー（応用編）に備える必要がある。

2021年（令和3年）9月28日（火曜日）

第2173号

＜発行所＞
日本歯科新聞社

同セミナーは、小原氏らの最新刊『100円グッズ 収納アイデア集』（日本歯